

CLUB NEWS

WEEKLY
REPORT
YAMAGATA
CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック

山形中央ロータリークラブ

30周年記念事業を終えて気持ちを新たに!

vol.
1345

2023・2024
MEETING

〒990-0039 山形市香澄町2-9-21 (株)メコム気付 事務所携帯TEL 090-1445-4120 FAX (023)642-1618

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形



- 会長 長 玉ノ井 憲史
- 会長エレクト 長谷川 淳
- 副会長 本間 雅之
- 直前会長 石山 徳昭
- クラブ管理運営 佐藤 太
- 職業奉仕 相川 博昭
- 社会奉仕 丹野 秀樹
- 青少年奉仕 伊藤 和子
- 国際奉仕 深瀬 隆志
- 幹事 高橋 恭治
- 副幹事 小林 敏郎
- 会計 神保 綾
- S A A 鈴木 陽子

国際ロータリー会長 コンドルマツカレ(スコットランド)
第2800地区ガバナー 伊藤 三之(山形北)
第5ブロックガバナー補佐 吉田 義尚(山形東)



◆日時/2024.1.23 12:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング/国歌・我等の生業

会長挨拶



皆さん、こんにちは、最初に本日のゲストをご紹介します。山形市こども未来部 部長 奥山 泰子さんです。奥山さんにはのちほど「少子化の現状と対策について」のお話をお聞きしたいと思います。宜しくお願い致します。

さて、先週は新年会が亀松閣にて盛大に開催され、柴田実行委員長、親睦委員会の皆様ありがとうございました。山形舞子さんの踊りから始まって私の数年ぶりの獅子舞を披露しましたがいかがでしたでしょうか、すこしでも盛り上げるつもりで踊りましたが相変わらず中途半端なつたない芸となりすみませんでした。また、機会があればまた違う芸をご披露したいと思います。そして、当日のここにボックスにはほぼ全員からご協力いただき感謝申し上げます。

さて、能登沖地震から三週間たちましたが、まだまだ被災地のほうでは余震が続いており予断を許さない状況になっています。世界中からは多くの義援金、支援が寄せられていて、特にどこの国よりも早く義援金を送ってくださったのは台湾でした。東日本自身の時もそうでしたが、このたびも22日現在民間からすでに25億円を超えたというニュースを聞きました。以前阿部前総理が「台湾の有事は日本の有事」と言っていたが台湾の蔡総統もこの度のことに関して「日本の有事は台湾の有事」と言っていたそうです。このように台湾の国民の日本に対する友好と絆の強さは半端なものではないと痛感しました。

この度台北永楽ロータリーに30周年記念行事の表敬訪問に行きますが、その時には能登半島地震義援金のお礼も含めて日本と台湾の、友好と絆をさらに深めてまいりたいと思っております。

以上挨拶とさせていただきます。

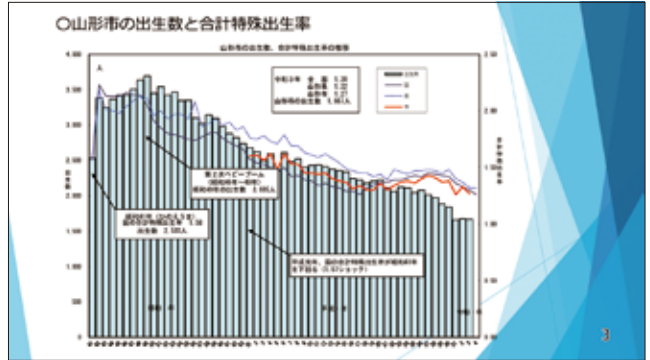
本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	36名	—	24名	—
修正出席				
他クラブでメイクアップされた会員				



ゲスト卓話 少子化の現状と対策について

山形市子ども未来部 部長 奥山 泰子 氏



国の動き

○子ども家庭庁の設置（令和5年4月）

- 子ども家庭庁の必要性・目指すもの
 - 子どもまんなか社会の実現に向けて、常に子どもの視点に立って、子どもの養育に協力かつ第一に取り組みを担った行政組織として、子ども家庭の福祉の増進・保健の向上の等支援、子どもの権利利益の擁護を任務。
 - 教育は、文科科学省の下で充実。子ども家庭庁と文科科学省が連携に連携。
- 強い司令塔機能
 - 総務省の機関として、内閣府の外局とし、一元化の企画・立案・総合調整
 - 各省大臣に対する担当権等を有する大権を必要化
 - 総務を長とする閣僚会議を一体的に運営、大綱を一体的に作成・推進

○子ども未来戦略方針のとりまとめ（令和5年6月13日閣議決定）

3年半の予算規模の「子ども・子育て支援加速化プラン」の骨格を提示

○子ども未来戦略会議にてとりまとめ（令和5年12月22日閣議決定）

3.6兆円程度に及ぶ「子ども・子育て支援加速化プラン」の内容と金額等の提示

子ども未来戦略「加速化プラン3.6兆円」の施策詳細

施策の名称	内容	効果
1. 若い世代の育育向上に向けた取組	若者の育育向上に向けた取組	若者の育育向上
2. 子育て世代の育育向上に向けた取組	子育て世代の育育向上に向けた取組	子育て世代の育育向上
3. 高齢者の育育向上に向けた取組	高齢者の育育向上に向けた取組	高齢者の育育向上

山形市の子ども・子育て施策

○シェルターインクルージブプレイス コバル（南部児童遊戯施設）

- 令和4年4月18日オープン
- 施設内：大型遊具、体育館、多目的室、図書コーナー、情報コーナー、休室、飲食コーナー など
- 施設外：芝生広場、遊具広場、駐車場（300台）
- 敷地面積 299,556㎡（令和5年12月末）

○子ども医療給付事業

【事業概要】子ども医療給付制度は子どもを対象に、病院等で受けた保険診療に係る医療費の自己負担分を支給する制度です。

これまで山形市では、平成24年4月から一部負担金を撤廃し、平成26年10月からは外来診療に係る支給対象者の範囲を15歳まで拡大するなど、独自の取組の充実を図ってきました。

また、入籍費に相当する高校生の子どもの医療費無償化について、令和6年4月より新たに高校生の外来費も対象に加え18歳までの医療費を完全に無料化し、更なる保護負担の軽減や子どもの健全な発育・発達に資する支援を行います。

【拡充の内容】外来診療に係る支給対象者の範囲を「18歳まで」に拡大します。

	改正前	改正後
外来診療及び指定訪問介護	0歳～15歳	0歳～18歳
高校生の外来費無料	なし	あり
入院療養	0歳～18歳	0歳～18歳

【交付方法】病院等の窓口で保険証とともに医療証を提示することで医療費の支払いが無料になります。



○LINEを活用したチャット相談「おやこよりそいチャットやまがた」（令和4年5月11日開始）

デジタルで子育て世帯の困りごとを解消し、安心して子育てできる環境を整備するデジタルソーシャルワークを実施する。チャット相談は、豊富な経験を持つ認定NPO法人ブローレンスが担当。

市のLINE公式アカウントから「おやこよりそいチャットやまがた」に登録すると、窓口に出向くことなく、子育て世帯に役立つ情報を受け取り、暮らしや子育てに詳しいスタッフにスマホ等でチャット相談ができます。

【効果等】

- 相談窓口の紹介や、具体的な対応方法に関する情報提供を通じ、寄り添いが必要な子どもの情報を早期に把握し、解決に導く。
- 見守りが必要な世帯には、食品を届けることをきっかけに悩みを深め、寄り添いながら支援につなげる実例も実現。（山形市社会福祉協議会、クローバーの会アットやまがた（山形市内団体））
- 特に支援が必要と認められる世帯については、市子ども家庭センターをはじめ、様々な関係機関が連携し対応する。

